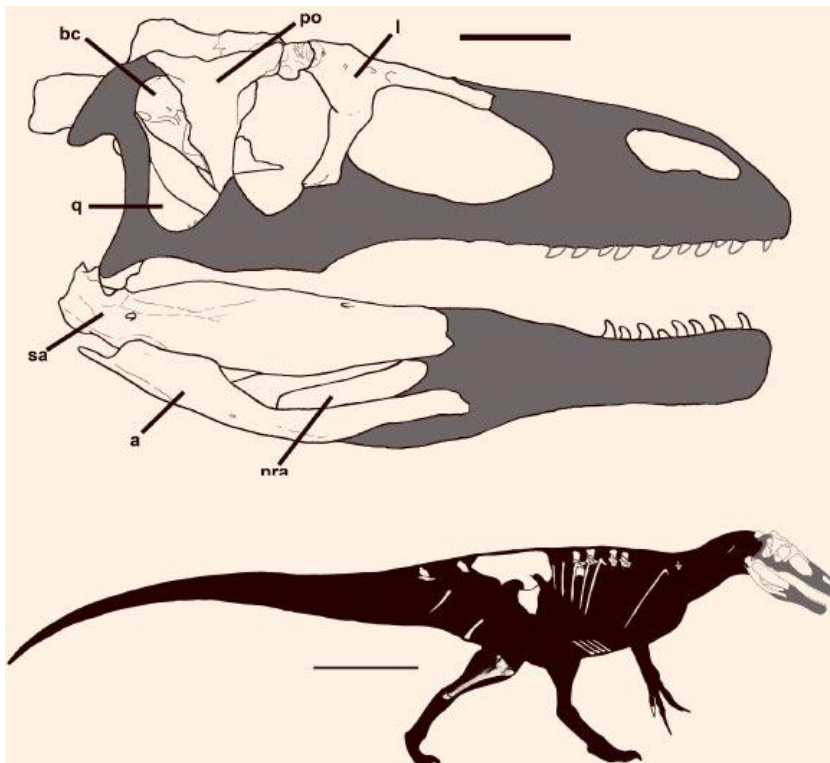


アルゼンチンで発見された新種のメガラプトル科に属する肉食恐竜

アルゼンチンのパタゴニア北西部のシエラ・バローサの約 8000 万年前の地層から、新種のメガラプトル科肉食恐竜が発見され、アルゼンチンとカナダの古生物学者によって記載され、アメリカのオンライン科学雑誌プロスワン(PLoS ONE)に掲載された[1]。

メガラプトル科の恐竜には、日本のフクイラプトルの他、アウストラロベナトル、シアッチ、アエロステオンが知られていたが、断片的な化石が多く、生物学的特徴はよくわかっていなかった。今回、アルゼンチンで発見された新種恐竜は、ムルスラプトル・ボロッサエンシス(*Murusraptor barrosaensis*)と名づけられた。このグループの恐竜は、肉食で、二足歩行で移動し、大きな鍵爪をもっているが、発見された化石は頭部のもので保存状態が良いという。成長段階の幼獣であるが、体長は 8 メートルに達するという。



[1] Coria, R. A. and P. J. Currie (2016) A new Megaraptoran Dinosaur (Dinosauria, Theropoda, Megaraptoridae) from the Late Cretaceous of Patagonia. PLoS ONE 11(7): e0157973;doi:10.1371/journal.pone.0157973.